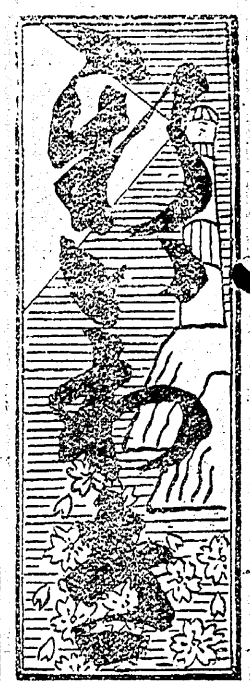
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　【日刊】　昭和九年六月二十六日　新いわき　【火曜日】　第一千二百十二號　（一）

六月二十五日　夕刊



休日　日曜祭日
一ヶ月　二十五錢
郵税十五錢　一部二錢
廣告料　一行　四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

一週一言

繭價の慘落から養蚕當業が死地に陷つた善處策に對して農林省當局では其の根本策を樹立の爲め具体案を研究中であると傳へられ本縣蚕糸課でも今二十五日蚕業取締支所長會議を開き之れが對策に關して上局への建言案を協議されるものゝ如くであるが蠶糸業地の本縣として最も必要なる努力であらうと考へる、

× ×

さるにしても從來に於ける蚕糸對策は政府のなせる生糸補償の失敗を初め現春繭期に準備されたる乾繭共同保管の如きに至るまで何れも成功とは認め難く斯業の安全確立を計らうと云ふならば單に一時を糊塗する應急的のものでなく此の際思ひ切つて根本から建て直す覺悟と要意があつて欲しいものである、

× ×

對策の骨子であらうものを簡單に云ふならば、繭と糸とを別個に考へては到底安全な歩調を望み得べきでなく、兩者を相携へて歩ましめる所に問題の解決があるであらう、調所蠶糸兩業の協調なるものが多年唱ひられてゐるのであるが如何に協調せよと力説しても當局に其の施設計畫がなくては實現さるべくもない筈であるのだ、

× ×

乾繭共同保管の如きは枝葉末節な彌縫策であつて乾繭發と保管料に漸く間に合ふだけの奬勵補助を以てしては養蚕當業に何等の惠みでもなく政府が之れに一歩を進めて保管後の値下り損失を補償すると云ふことによつて繭の出廻りを一時封鎖出來たにしても其の結果は製糸當業を萎縮せしめ且つ夏秋蠶に大なる脅威を與ふるのみで農村に得るものよりは失ふものが多くなりはしないであらうか、

× ×

輸出王者の生糸が我が國經濟に重要なものであることは云ふ迄もなく之れを本縣に取つて云へば四百萬石に上る產繭は半額以下の暴落と云はれる本年に於ても實に八百八十萬圓に達し縣内製糸の運轉八千釜に繰られる生糸は四十六万貫これまた現在の糸價安に採算しても千三百八十萬圓に上る農村の大なる財源である のだ、吾れ等から見る蚕糸對策は徹頭徹尾これを可分的に考へたくはない、當局にも余程愼重な考慮を望みたく思ふものである、

× ×

鐵道利用の繭輸送

平驛に一車もなし

今日奥羽線の乾繭タツタ一車

昨春の取扱高は廿三車

平地方の春繭は漸く出廻り盛期を越えて今二十五日までの出荷高は平町片倉製糸の三万五千貫、同町問屋取引の約五千貫、四倉市場の二萬七千五百貫を合せて六萬七千五百貫と云はれてゐるが平驛に於ける繭の輸送は殆んど皆無で今二十五日平町大泉商店から奥羽線糠の目驛行の乾繭一車が出たゞけで昨年まで汽車便をとつた本宮の郡是も日東も姿を見せず繭の輸送に準備してゐた驛貨物係では前年同期に於ける取扱ひ高

六月十五日岡谷行乾繭一車
郡山行生繭一　十九日郡山
行同一　二十日同二　廿一
日同三　廿二日同二　二十
三日同一　矢吹行同二　二
十四日郡山行生三　二十五
日同二　二十六日同二　二
十七日同二　七月二日郡山
行乾一　三日前橋行乾一
合計二十三車の數字を睨めて落懲してゐるが右の運賃は最も近い郡山驛で二十三圓八十四錢（一車）であるから四十圓平均として八百六十圓を減收した譯で之れを郡山行で採算すれば一噸當り三圓に過ぎず トラック運賃の比較でないのだが一体どうした原因かと對策に頭をしぼつてゐる

常識講座

スキートガールは近頃菓子屋が試み初めた婦人の新職業だとあるマネキンでは人形見た樣なもので物足りないから之れに女店員を加味させ甘酢つぱい所で客を誘ふ工夫かも知れぬ

不拂ひ賃銀を差挾み會社と坑夫ニラミ合ひ

殘炭採堀に當外れた宇佐美坑

二十四名の轉山から

石城郡赤井村の宇佐美炭鑛は關東燃料の重役森眞一氏が一萬餘圓を投じて同坑の殘炭採堀を計畫したが業績思はしくないため賃銀支拂ひ月遲れの苦境に陷り現在五十餘名の坑夫を半數に減じて二十四名を茨城縣多賀郡松岡坑に送る打開策を講じたところ同坑夫達は鑛主の關係炭鑛に轉山するとは云ひ一旦宇佐美坑と手を切る以上は未拂勞銀の全拂ひは勿論解雇手當を與へて貰はねばならぬと會社側に迫つてゐるが同坑の現狀では僅々六百圓の金策すら容易でないので解決に惱んでゐるが勞働者側でも同盟罷業等による休山は全然望んで居らず右支拂ひの要求で睨み合つてゐるが現在のところ不穩と稱する程の模樣はなさそうであると

四倉市場盛を越ゆ

春繭取引三萬貫を突破の見込み

四倉市場の春繭取引は盛期を越えて明後二十七日頃までの右に對して差押處分を斷行し來る七月五日鑛區の競賣處分を行ふことになつたが主なるものは左記の如くである

石城郡赤井村川瀬炭鑛（滯納四ヶ年分六百廿五圓）東京千代田合資遠藤組（採堀鑛區七二萬八千坪滯納五ヶ年分二千六百二十四圓）石城郡好間村岡田四方松（滯納三ヶ年分六百廿四圓）その他二十一件

出廻りと見られてゐるが去る二十三日及び二十四日の出荷並に相場は左記の如く當日までに總量二萬五千四百五貫九百五十匁を算してゐるが今二十五日は約二千貫の取引豫想であつて今春の同市場は三萬貫を突破するものと見込まれてゐる

二十三日總出荷二七九二貫
六八〇匁　白繭二四四〇貫
高値二六圓三〇錢　低値二一圓　平均二四圓五〇錢
黄繭三五二貫六五〇匁　高値二三圓九〇錢　低値一九圓　平均二三圓六〇錢
二十四日總出荷二四七二貫
二六〇匁　白繭二〇八二貫
三六〇匁　高値二六圓三〇錢　低値二一圓　平均廿五圓
黄繭三八九貫九〇〇匁　高値二三圓九〇錢　低二〇圓十錢　平均二二圓六〇錢

平署の網にかゝる小學校荒しの賊

戸締固い平第三小學校今朝張込みの刑事につかまる

河沼郡坂下町生れ窃盗前科六犯高橋喜代次（三六）は去月二十七日福島刑務所を放免されて婆娑の風に當ると直ぐ惡心を起し中通り方面に於て十七の學校を荒した揚句濱通りに足を移して去る二十一日石城郡草野村の小學校に忍び入り金時計その他數點を窃取したので平署では當然管内にも入込むものと先手を打つて去る二十三日の夜から全校に監視を怠らず平町の三ヶ小學校に刑事を張込ませて居ることを知る由もない賊は今二十五日午前一時頃第三小學校に忍び込むべく戸締り嚴重な同校五六ヶ所の窓硝子をこじ開けやうと若心してゐる所を大谷、高松兩巡査のため取押へられて目下取調べ中である

未恐るべき小僧

主家から四百圓盗むと直ぐ乘合自動車で四倉

海岸の砂に埋め知らぬ顔

石城郡湯本町の三函二六四繭仲買商櫻井清方に於て去る二十四日午後八時半頃座敷箪笥の中に入れて置いた現金三百二十圓及び金側懐中時計一個が何者にか窃取されてゐることを發見直ちに平署に届出たので取調べて見たが外部より賊の忍んだ形跡なく最近同家に雇入れた双葉郡浪江町生れ高橋吉平（二五）假名の擧動が不審のため引致取調べの結果同人の所爲と判つた吉平は去る五月九日櫻井方に雇はれたものであるが金が欲しくてならず遂に惡心を起して前記の金品を窃取すると同時に湯本町から約四里の道を乘合自動車で四倉海岸に至り他に氣付かれぬ樣砂中に埋めて知らぬ顔でゐたもので今二十五日朝現場から前記金品を掘返した

五十一名の受驗で卅四名合格

平署管内から過般郡山市に於て施行された理髮業の受驗者は五十一名であるが中三十四名合格したので來る二十七日午前九時同署會議室で同證書の傳達式を行ふと

野球大會の役割

郡内各方部から來月下旬平町及び湯本、好間の三ヶ所に行はれる縣下中等校野球大會は湯本、平兩町に協賛會を組織し來場者歡迎に遺憾なきを期してゐるが同會に對する各係は左記の如く決つた

總務部平地方管本　室橋
比佐　關内　吉田　新田目
高木　新田目◇輸送部堀
石坂　水竹　野崎◇宿所係
熊　蛭田　阿部　酒井◇湯本方面鯨岡（久）鯨岡（益）金土◇準備係大越◇球場整理係植田　勿來方部赤津一
山崎登◇好間野球部長外一
名内郷方部如美山　松村

其漁法（七）

石田磐中教諭

…川魚の習性と…

勿論、特殊の河川でありまして其の水質が含毒鑛であるとか地形の變化が甚だ少なく大きな瀧の樣なものに妨げられる關係上到底魚類が到達することが出來ない地區とか云ふ樣な例外は格別でありますけれども總体的に申しますと河川の存する所、必ず魚類が棲息するのであります、諺に「清流に魚棲まず」と申しますが吾々には寧ろ猾稽に過ぎないのであります、御存知の通り動物には生存競爭の必要から保護色と云ふのがあります魚類も同樣で此の保護色によつて自然的に自衛を行ふのであります、即ち水清ければ清い程水色の樣な奇麗な河底と見分けの付かない樣な色合の魚類が棲んで居るのでありますが其の外、魚類の運動や休止の情態も亦た概ね河川に適す、反對に水が濁つて居るか河底が泥土でありますと之れに似た黑い色の魚類が棲んで居ることになります、其の外砂礫地に居るものは砂礫の樣な色合と云ふやうに皆同じ關係であります、そして素人の眼には付き難いので斯んな諺が出來たのだらうと思はれます、之れ等は總て水色河底等から割出された保護色でありますが其の外、魚類の運動や休止の情態も亦た概ね河川に適合する如く致しますので益々自衛を確實にすることが出來るのであります、此の關係を仔細に研究して以て棲息魚類を確むることは漁者の先づ練習すべき大切なる事項に屬するのであります、即ち河川を一見した許りで其處に棲む魚類の種類、大小、數量等を察知する樣になりますれば之れは非常なる進歩でありまして習性を會得する基礎を作り上げたのであります、

鑛業税の滯納競賣

平税務署では數年間手を焼いてゐた鑛業税の納入が炭鑛界

消費經濟の合理化（四）

内務省社會局

けれども、余り世人の注意してゐない事であつて、而も收入の增加の有益なことを敎える面白い事實がありますから、茲にお話申上げるのも無益ではないと思ひます、

凡そ人の生活は、一方には收入又は所得があり、之れを色々の費用にあてるものであります、その費用の中には、衣食住の費用の如くに、人の生活を保つ上に必要缺くべからざるものがあります、この方面に當てられる費用を必要費用と名づけます、而して、所得の中から此の必要費用を除いた殘余は、他の種々なる目的にあてられるのでありますが、之れは人々の心持ち次第で自由に種々なる方面に向けられるのでありますから、之れを自由費用と名づけます

それは例へば、圖書とか、衛生費とか、娯樂費とか、子女の敎育費などにも用ひられまするし、又その一部は貯蓄とか保險とかの目的にも當てられます、一言にして盡せば、自由費用とは人々の所得中から各種の文化的目的に當てられる部分を指すのでありますこの部分が多ければ多いほど人々の生活の內容が豐富になる道理であります、

茲で念の爲め一言お斷り申して置かねばならぬことがあります、例へば衣服の費用と申しましても、絹物を指すか木綿物を指すか、或は一年に一枚の衣服を指すか十枚の衣服を指すか、何所までが生活必要費であつて、それ以上は必要の程度を超えた費用であるかと云ふが如き細かい議論になりますれば、それは周圍の種々なる事情を考慮し健全なる常識によつて適當の判斷をしなければなりません、

パラソル と 日傘

例年御定評を頂く當店特選の
優秀な新柄を豐富に取り揃へて　ツルヤ　電一四〇

お醬油は……ヤマフル
醬油　味噌　たひら正宗　鰹節食料品
鹽屋　山崎合名會社
明治生命磐城代理店　山崎與三郎　電話　本店二一七〇番　營業部一一〇番

内科、小兒科
入院　繃帶
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

磐城名產特賣所
御土產物には鄕
石城みやげ　七濱の生產品　地元產の果實
平みやげ　名菓各種
土の名產が第一
平町驛前

產婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一　入院隨意　病室完備
木村病院　電話一六四番

東神火災保險株式會社
東京動產火災保險株式會社
滿鐵生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場　河田梅吉
營業所　福島縣平町七丁目　電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
茄果類ではトマト　茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壤を惡變する眞は絕對にありません
一俵　參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅　平町鎌田　電話六八八番

"貨物自動車"の御用命に應じます

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
內科　醫學博士　石山謙郎　（電話六四一番）
小兒科　部長　手醫學士　平賀一忠
產婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二　（電話三七〇番）
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　坂本眞一郎
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正　（電話一七一番）
X光線科　醫學博士　石山謙郎
物療科　技術員　彭
衛生試驗所　獸醫　高後利雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（每日午前八時より午後十時迄診療）
病室完備……入院隨意……

×ガソリン　モビール油　日本石油株式會社
油問屋　關內油店
特約販賣　電話長16　平　磐城
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
支店　郡山市驛前通　電話長八二三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

紺屋町　平町
藤沼醫院
電話五〇七番

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院